

ベビーシッター補助制度に関する調査結果について

男女共同参画キャリア支援センター 保育・介護支援部会

◆ 調査にご協力頂きありがとうございました。

平成29年6月16日(金)～平成29年7月20日(木)に、ベビーシッター補助制度に関するアンケートを実施しました。多岐にわたる質問にもかかわらず、多くの方から回答をいただきました。ご理解ご協力をありがとうございました。集計結果を公表させていただきます。

◆ 目的

平成28年7月よりベビーシッター補助制度をスタートしたことから、制度に対する意見をお聞きし、今後の推進に反映させて頂くための基礎資料とするため。

◆ 対象

小学校3年生までのお子さんをお持ちの教職員(H29/5/1日現在、産休・育休中の教職員を含む)。

◆ 回答数など

配布数	934 人
回答数	330 人
回答率	35.3%

◆ 主な回答

質問11:
シッターを利用した
感想

- ・自分に合ったサービスが受けられる:9
- ・安心して業務ができる:8
- ・子どもが普段の生活を変えることなく居られる利点がある:6

利用経験のある方からは、満足が得られていることが分かりました。

質問17:
どのような就労の時に
利用したいと感じ
るか

- ・予定されている時間外業務:67
- ・急な残業:64

利用経験の無い方で、利用したいと感じている方は多いものの、シッターサービスへの不安をお持ちの方が多く分かりました。また、制度を知らない、手続きが面倒である等の意見を頂きました。

質問18:
どのような用途で使
いたいか

- ・親の帰宅まで:81
- ・病児病後児:68
- ・保育園の迎え:52

質問19:
シッターを利用しな
い理由

- ・知らない人を家に上げることに不安:79
- ・料金が高い:76
- ・子どもがシッターさんに合うのか不安:62

質問15:
シッター補助の利用
が無い方

- ・補助制度があることを知らなかった:11
- ・手続きが面倒:8

まずは、お問い合わせください！

菅生・プレスト:人事部人事課(内線5840)
東横病院:事務室総務課(内線459)
西部病院:事務部総務課(内線2018)
多摩病院:事務部総務課(内線2257)

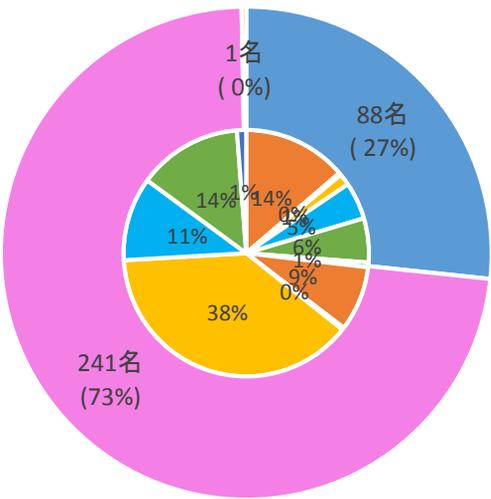
【申し込み方法等】

http://www.marianna-u.ac.jp/career/data/pdf/20171006_guide.pdf

ベビーシッターを利用したいと感じている方は多いものの、シッターを利用することへの抵抗や高料金であることが利用に結びついていません。利用者の声や近隣の情報を集めて、継続して広報いたします。

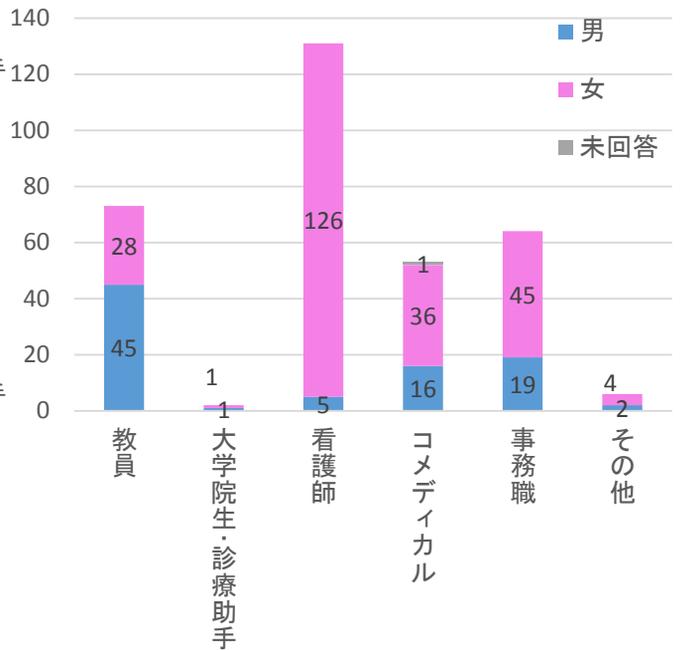
また、仕事と家庭の両立のための支援策については、ニーズに対応した制度を引き続き検討いたします。

男女別職種別



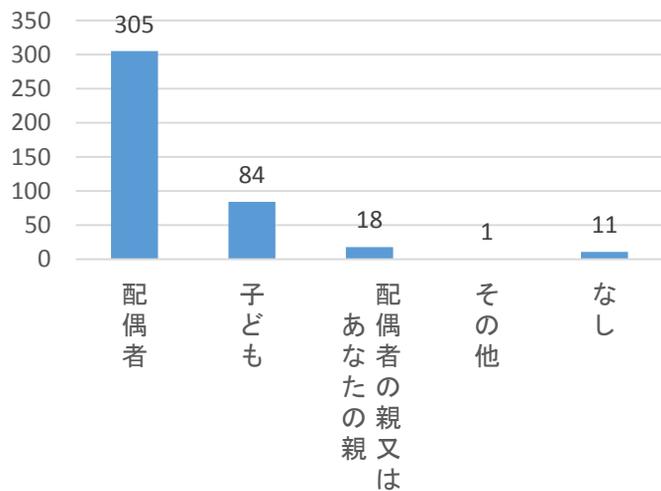
- 1男
- 2女
- 未回答
- 教員
- 大学院生・診療助手
- 看護師
- コメディカル
- 事務職
- その他

男女別職種別

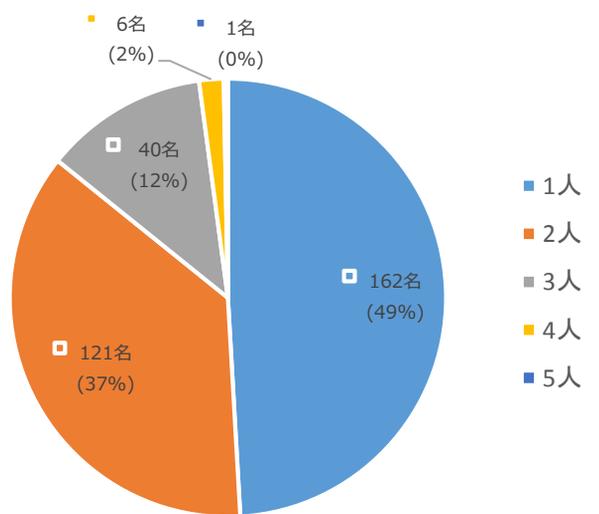


4. お子さん以外の同居家族 複数回答可

回答可 n329

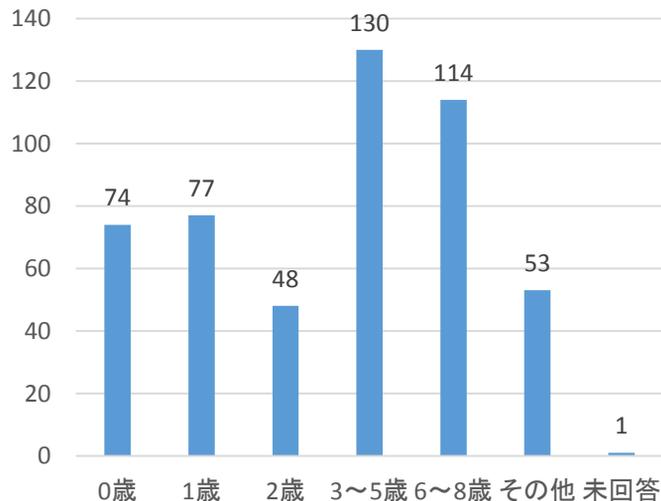


5. お子さんの数 n330

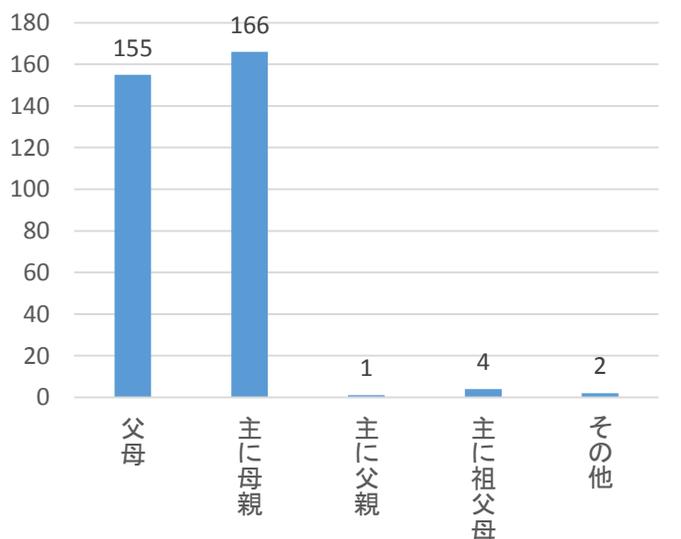


6. お子さんの年齢 複数回答可

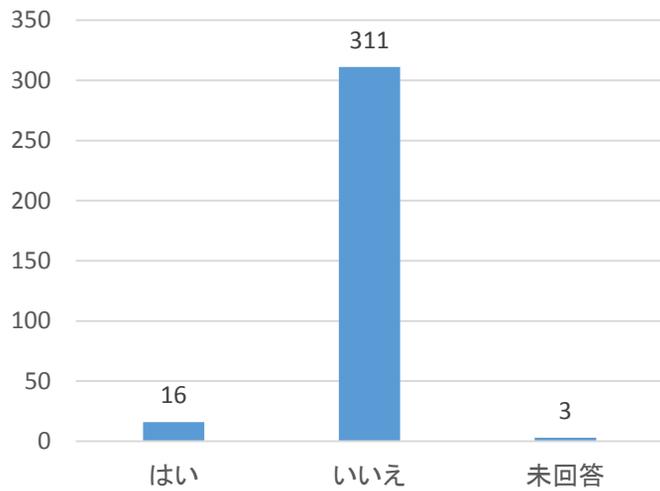
n330



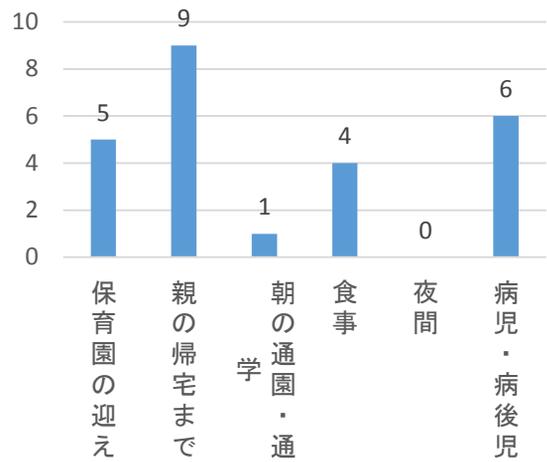
7. 子育てを主に行なっている方 n330



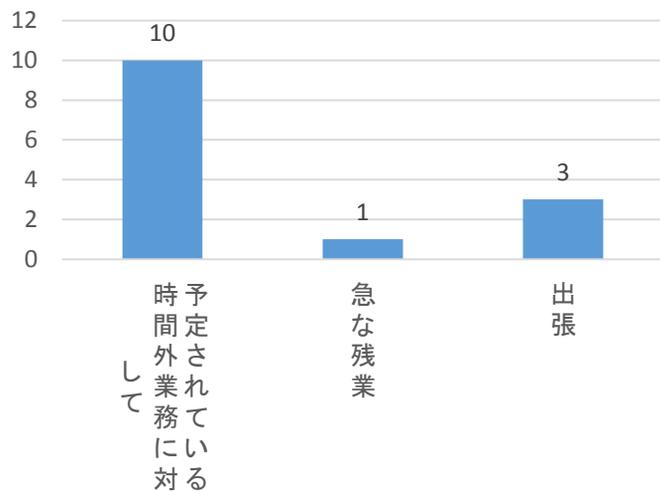
8. ベビーシッターを利用したことはありますかⁿ³³⁰



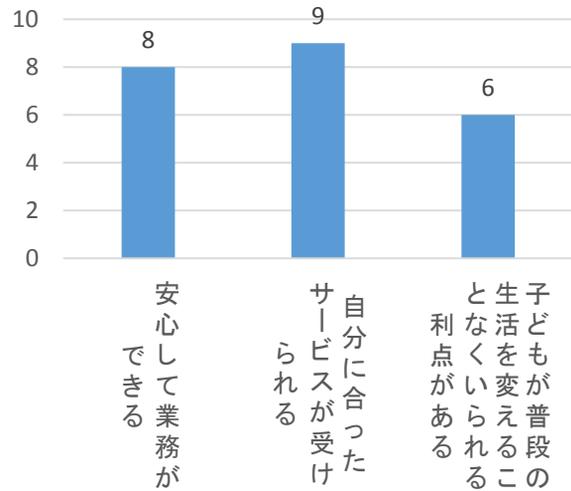
9. 8で「①はい」と回答した方のみどのようなときに利用していますか(複数回答可)ⁿ¹⁶



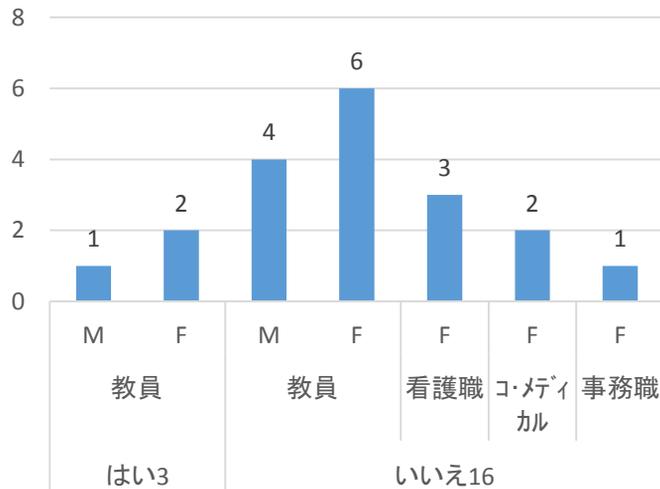
10. どのような就労の時に利用していますか(複数回答可)ⁿ¹⁶



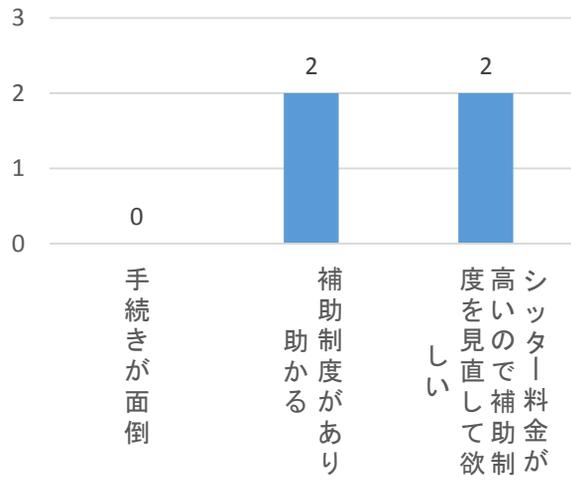
11. シッターを利用してどう思いましたか(複数回答可)ⁿ¹⁶



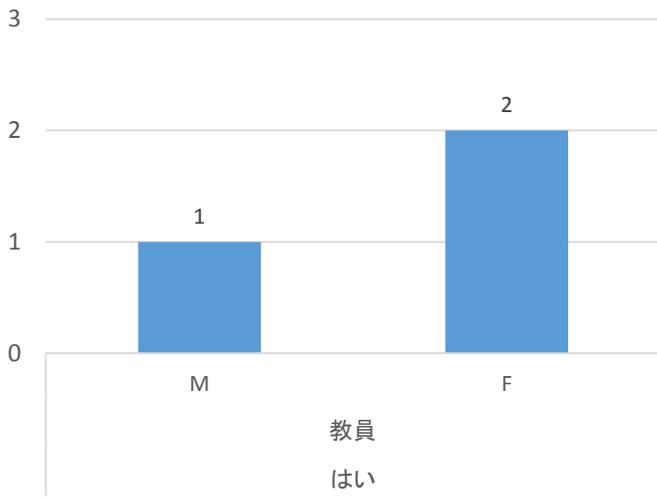
12. 本学のベビーシッター補助制度を利用したことがありますかⁿ¹⁹



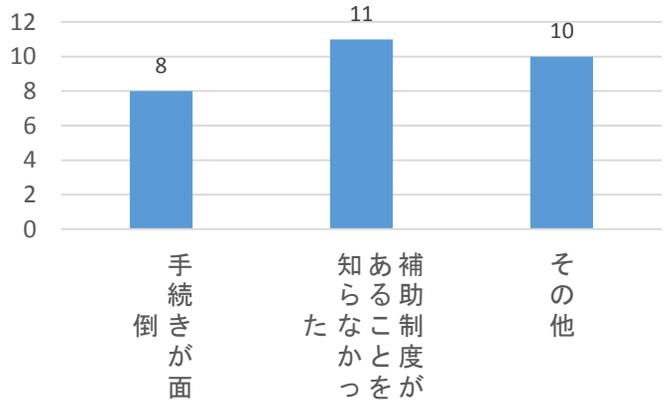
13. 12で「①はい」と回答した方のみ補助制度を利用した感想ⁿ³



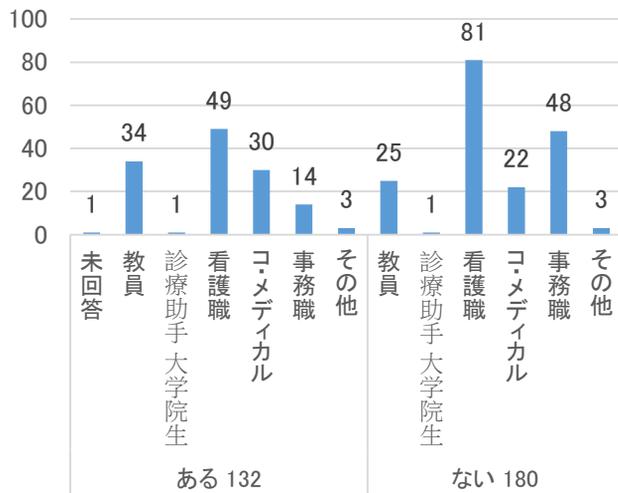
14. 今後も補助制度を利用したいと
思いますかⁿ³



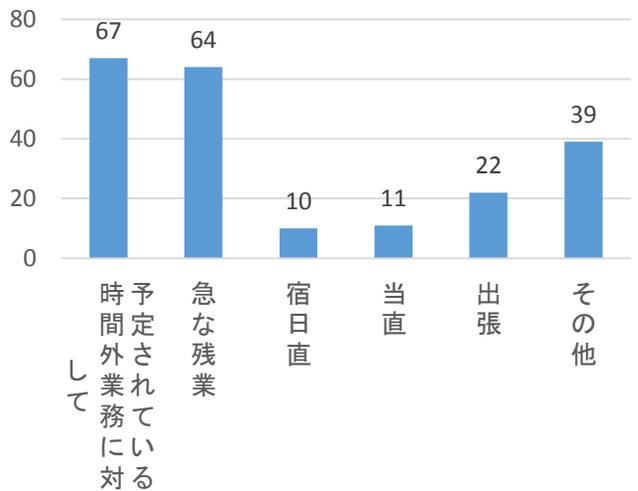
15. 12で「②いいえ」と回答した方
のみ これまで補助制度を利用しな
い理由は何ですかⁿ¹⁶



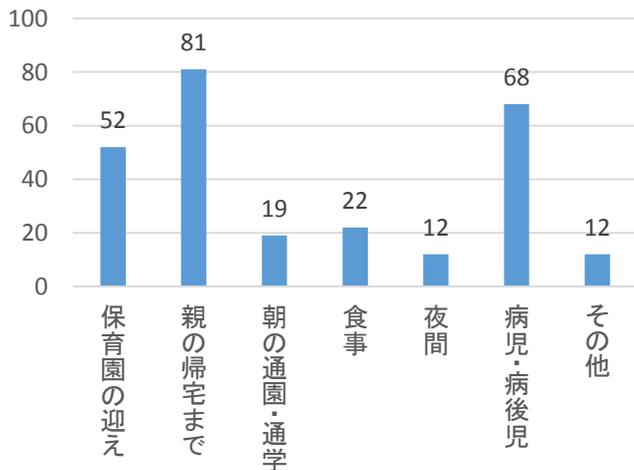
16. 8で「②いいえ」と回答した方
のみⁿ³¹²



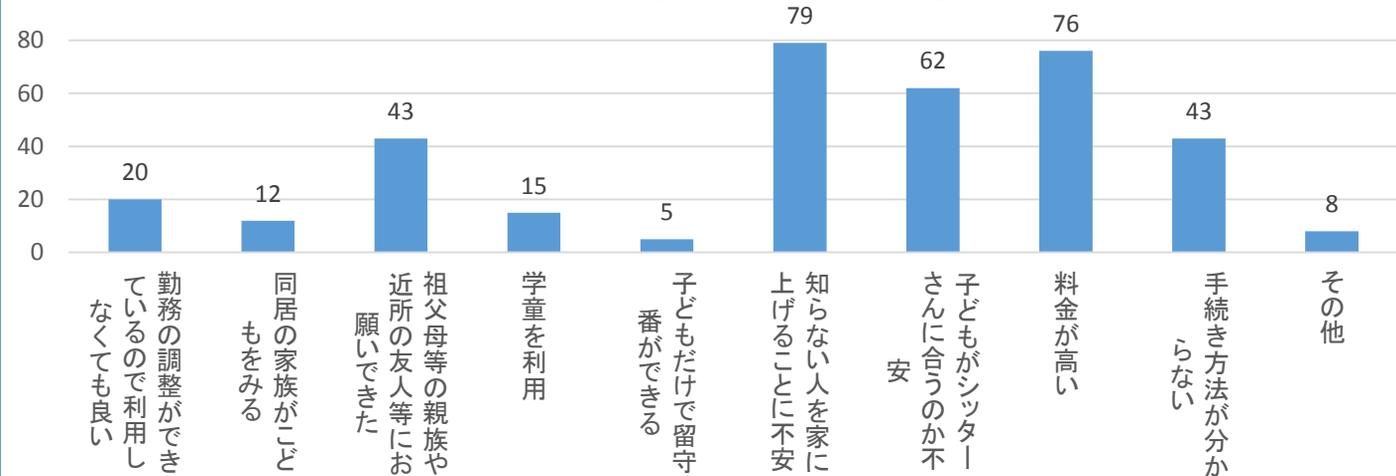
17. どのような就労の時に利用した
いと感じましたか(複数回答可)ⁿ³¹²



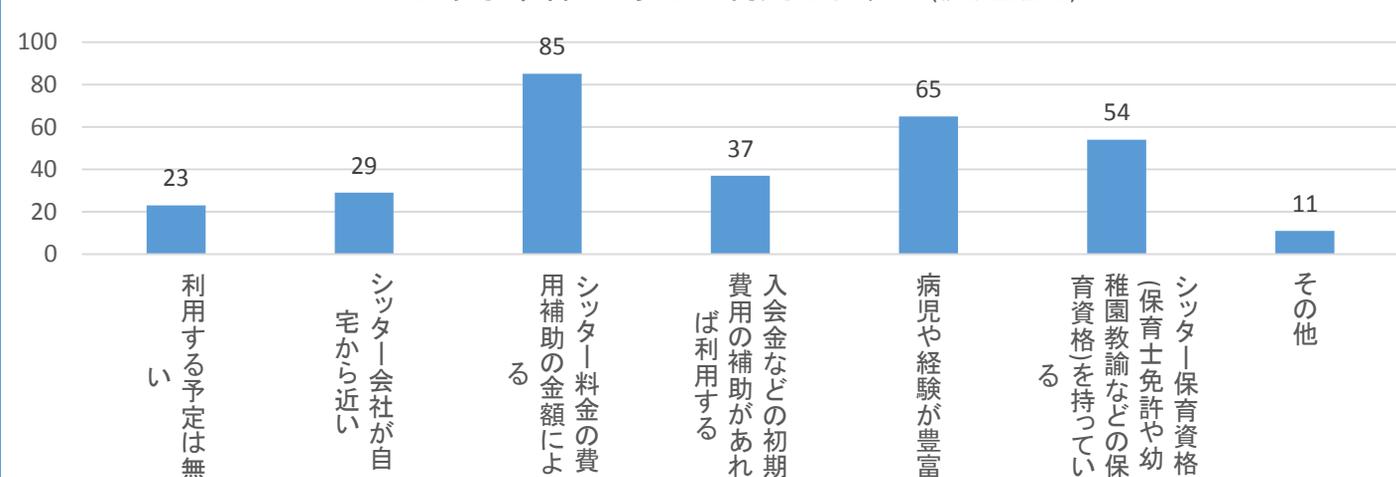
18. どのような用途で利用したいと
感じましたか(複数回答可)ⁿ³¹²



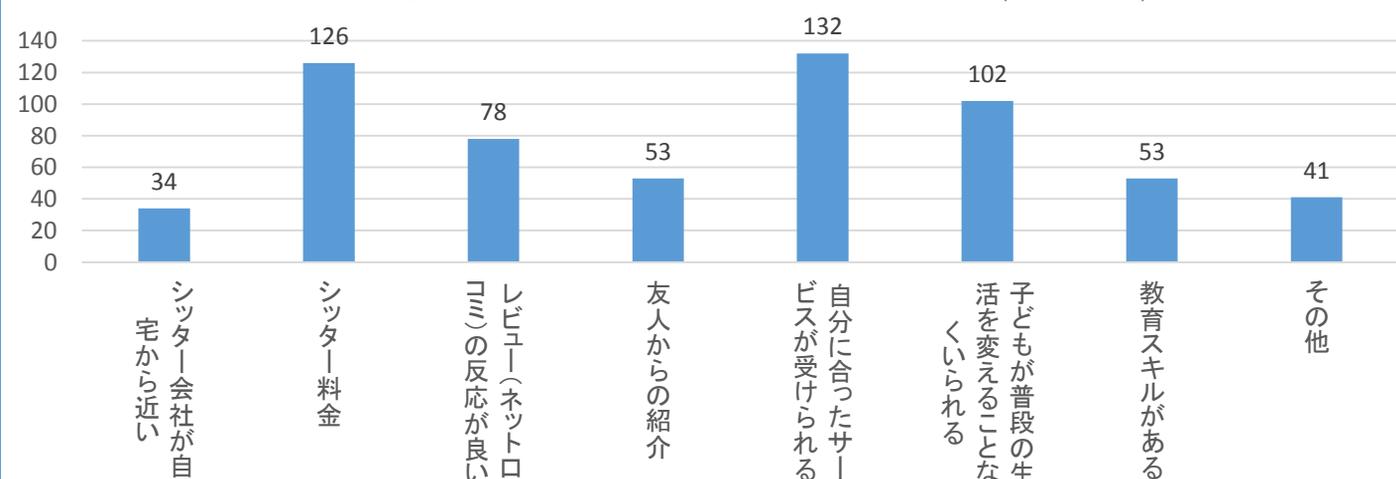
19.ベビーシッターをこれまで利用しない理由は何ですか(複数回答可)n312



20.どのような条件があれば利用しますか(複数回答可)n312



21.シッターを選ぶ時の決め手は何だと思いますか(複数回答可)n330



自由記述（抜粋）

◆ 補助費用制度関係

- 全国保育サービス協会が指定している会社以外の場合も、補助金を支給して欲しい。
- 補助の金額が少ない。もう少し値段を上げてもらえないと利用できない。
- シッター利用のための入会金2万円程度および1時間単価が高い。
- ベビーシッターだけでなく、ファミリーサポートの料金を補助してもらいたい。補助が出るとはいえ、シッター料金の方が高い。

◆ 学童期

- 学童期のフォローが必要。
- 学童期、夏季休暇中のサポートを検討して欲しい。
- 小学校低学年時の午後や夏季休暇時のサポートが手厚いと良い。
- シッターよりも学童の補助ありがたいし現実的。

◆ 子の病気

- 子が病気の際は休める環境。
- ベビーシッターではなく、託児所(病児含む)を検討して欲しい。
- 病児・病後児保育の受け入れを拡充して欲しい。利用しやすくして欲しい。

◆ 業務負担配慮、職場環境

- 常勤者への負担に対する配慮も必要。
- 制度と合わせて意識改革もできると、より働きやすい職場になると思います。

◆ 子の病気に対する斡旋支援

- 小さい子どもは熱を出すと、そこから3日間くらいは続くため、仕事を3日休むことにすごく後ろめたさを感じていた。保育園に預けることのできない病児の時が一番シッターさんを必要と感じる。自分で探すのも良いが、登録が面倒だったり、合っているか、良い人かも分からないので、斡旋してくれたりすると、よりありがたい。

◆ その他の意見

- 日本にシッター文化がない。
- 大学病院で女医が復帰するには、時短制度が確立されていないと厳しい。外勤も無であれば、経済的にも厳しく復帰する人は少ない。
- 医師・看護師のみの保育手当での支給に不満。
- 時短勤務制度の期間を延長したり、時間単位での有給取得。
- 復職後”働き方”について考えると不安になるため、気軽に相談できるところが欲しい。